

写真画像の加工を行う

- ・本資料は、レーザー加工機 RSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH が正常にセットアップされていることが前提となります。
- ・本資料は、RSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH 用制御ソフト EzCad2J が正常にインストールされていることを前提としています。
- ・本資料は、データ作成方法等の詳細内容については、言及しません。
(詳細な内容については、「EzCad2J ユーザーマニュアル.pdf」を参照ください。)

準備

加工を行う前に EzCad2J の設定を確認します。

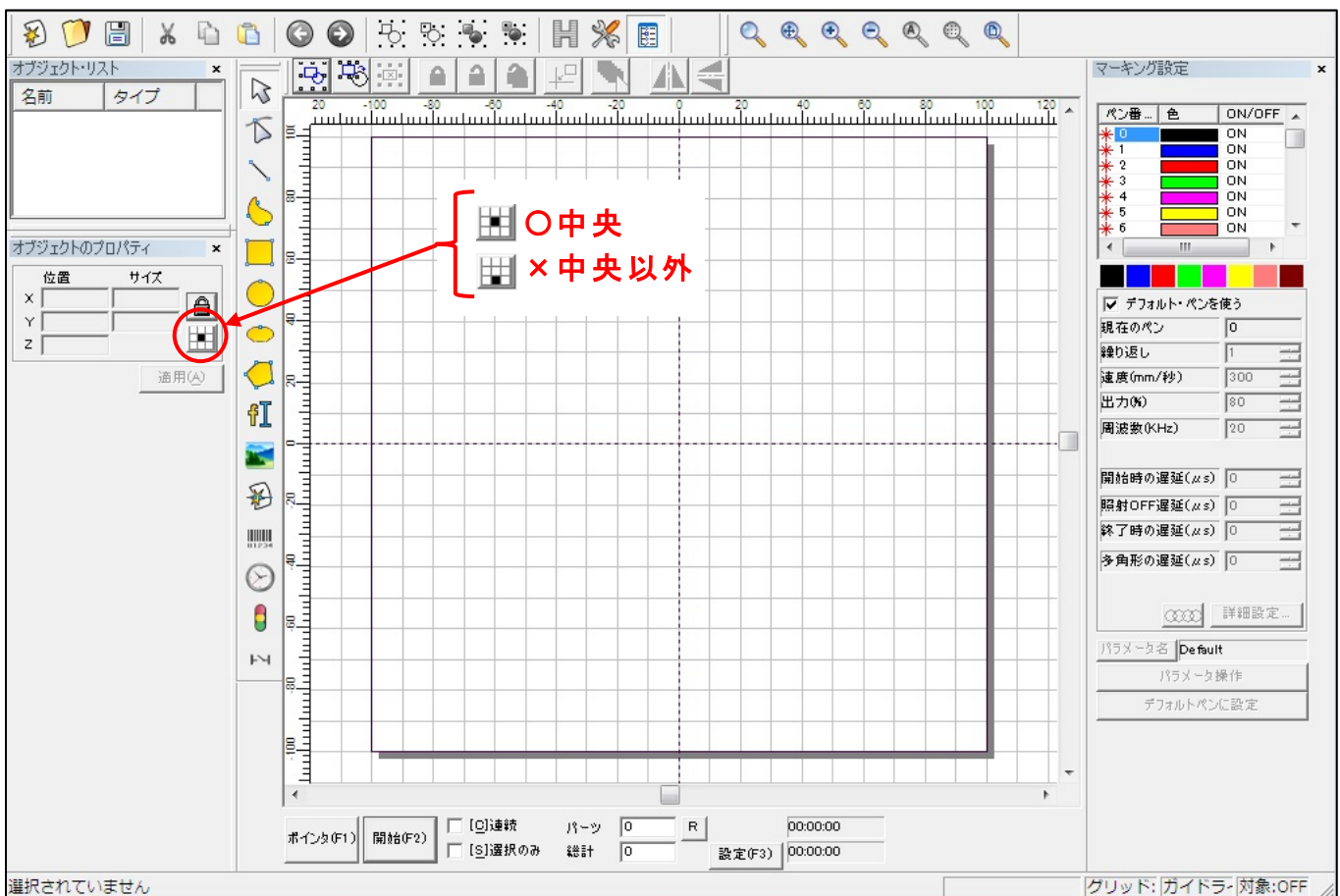
加工のたびにを行う必要はありませんが、適切な設定になっていないと加工位置がずれてしまいます。

(1) レーザー設定

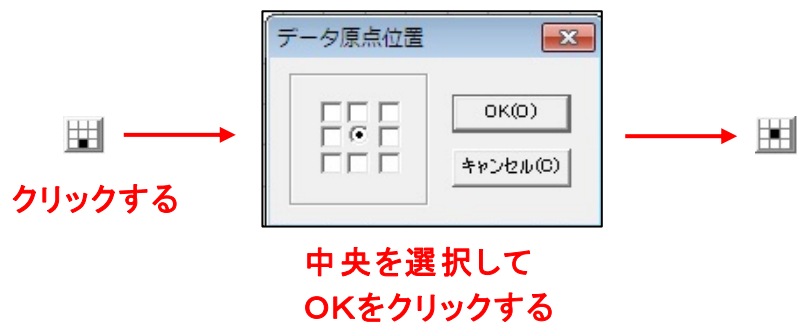
別紙「レーザー設定マニュアル.pdf」を参照し、データ内容と加工結果が一致するように設定・調整してください。特にレッドポインターと実際の加工位置が一致するように調整してください。

(2) データ原点の設定

データ原点は中央に設定してください。



データ原点が中央でない場合は、ボタンをクリックして中央に設定してください。



(3) 装置のスイッチボタン

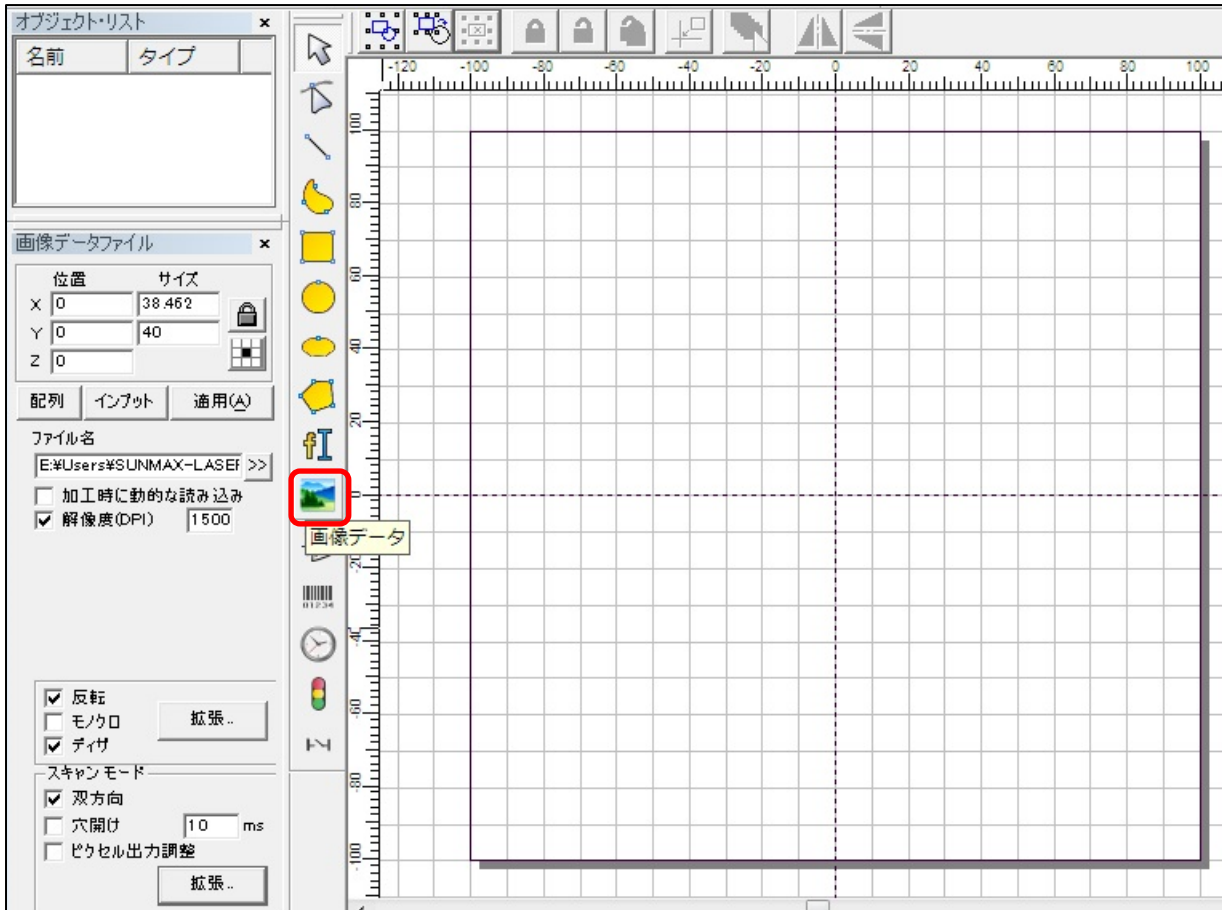
装置操作卓の右側3つの制御ボタンが押されているか確認ください。



※右の3つのランプが点灯していること

写真画像の作成(読み込み)

写真画像の作成は、描画・ツールバーの「画像データ」をクリックして行います。



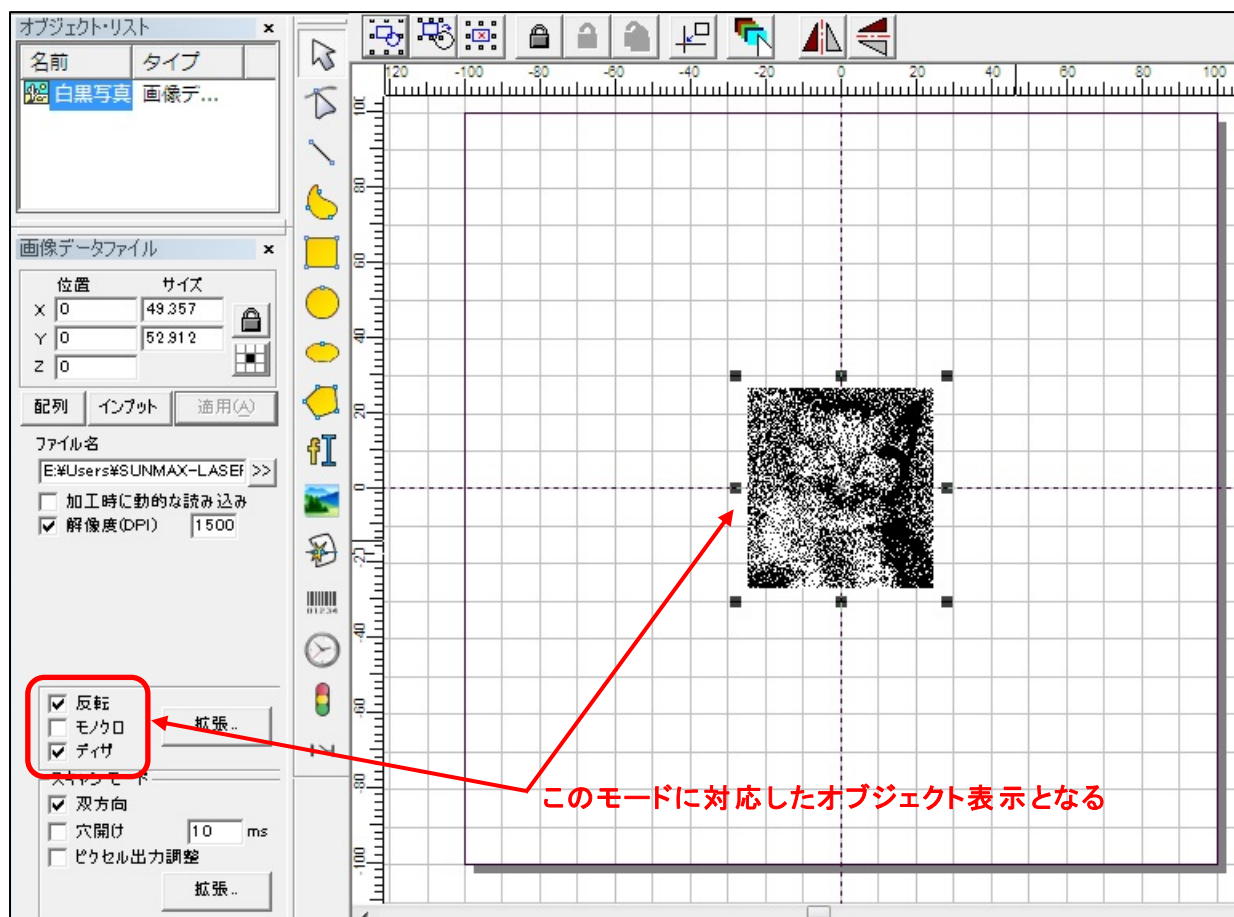
「画像データ」をクリックするとデータ読み込みのダイアログが表示されます。



対象とする写真を選択し、「開く」ボタンをクリックすると次の警告メッセージが表示される場合があります。
(許容レンジを超えている為、MAXレンジで処理する)



「OK」をクリックすると以下のようなオブジェクトとなります。

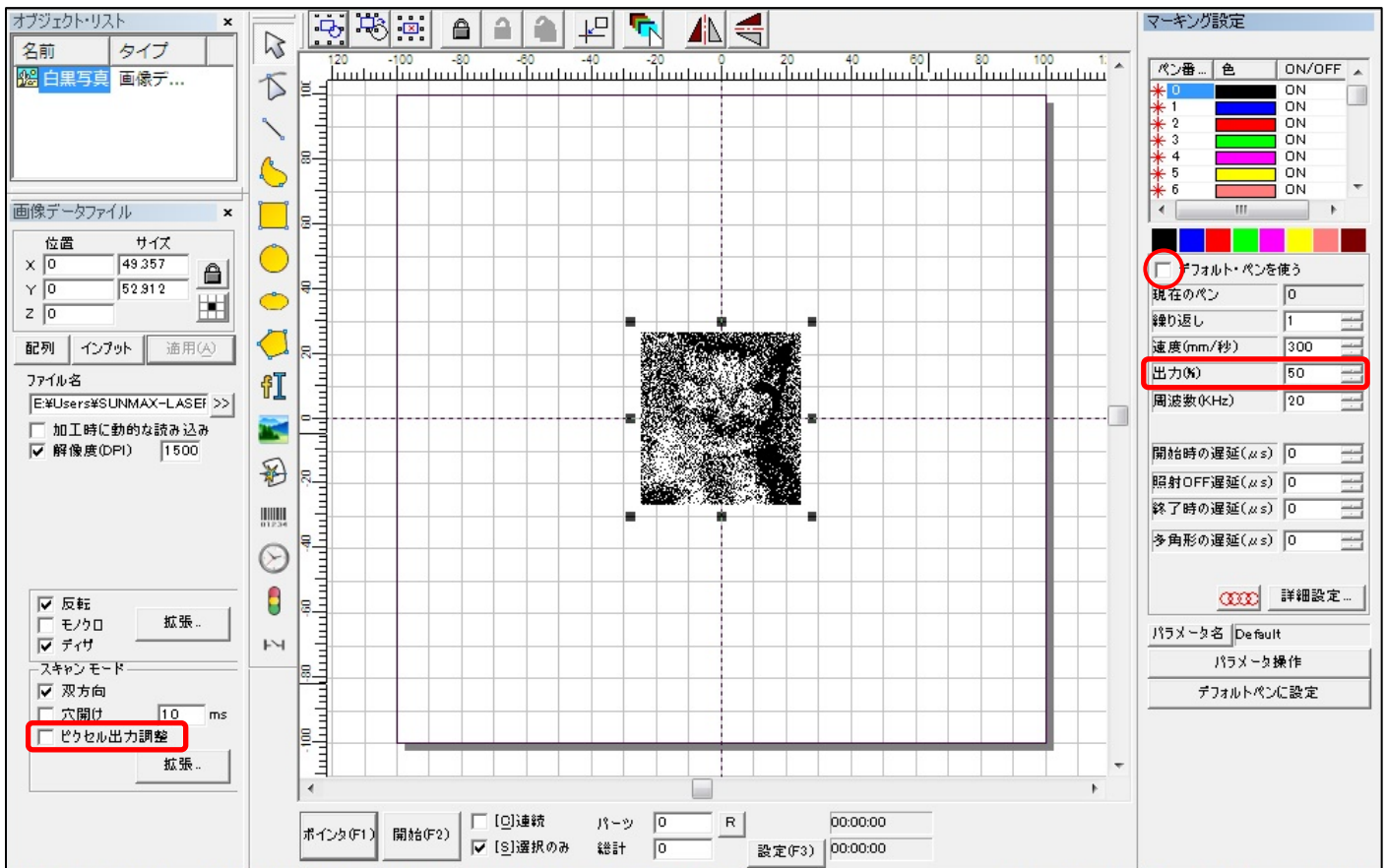


このモードに対応したオブジェクト表示となる

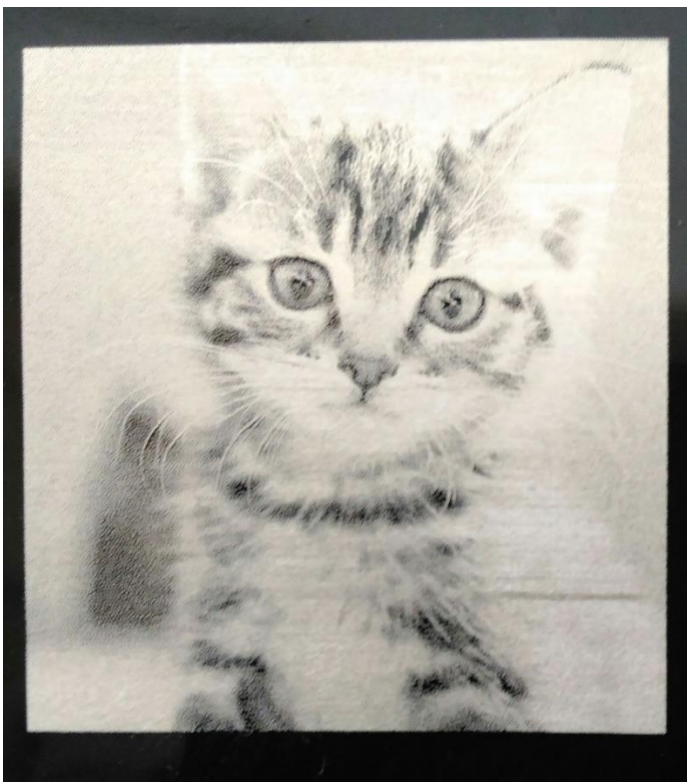
写真画像の加工

加工するにあたって、以下の項目設定を行います。

- (a)「ピクセル出力調整」のチェックがないことを確認する。(入っていたら外す)
 - (b) マーキング設定における「デフォルト・ペンを使う」のチェックを外し、出力を50%程にする。
- ※出力が高いと照射線が目立ってしまう。



今回使用した下地表面が黒い薄板(金属製)に照射した結果は以下のとおりです。



色々な素材への加工

(1) 下地が銀色の金属板への加工

前述の下地表面が黒い薄板(金属製)と同じ設定内容で、反転モードを解除(反転にチェックなし)して実施した結果は以下のとおりです。



(2) 下地が金色の金属板への加工

上記(1)と同じ設定内容で実施した結果です。

